

# 平成19年度2年次台湾校外学習の取り組み

## ～相互交流・高大連携の実践と評価～

2年次 後藤卷子・竹内義晴・奥村準子・洪木陽介・初谷和行・  
對崎加奈子・丹羽美由紀・金城幸廣

**要旨** 本校における初めての台湾校外学習は、現地高校生との相互交流（台湾と日本で2回の交流会、ホームステイ実施）を主題に準備を進めてきた。その過程で大学や保護者、関係各所の連携・協力をいただき、無事校外学習と交流会を終了した。本稿では今年度の校外学習にたいする取り組みを報告しながら、総合学科高校における海外校外学習プログラムの評価と、国際交流および高大連携の在り方について検証を試みる。

**キーワード** 海外校外学習 異文化理解 相互交流 高大連携 インフォーマルエデュケーション

### 1. はじめに

本校では、平成8年度より海外での校外学習を実施しており、平成8～15年度は韓国へ（うち、1回はSARSの影響で沖縄へ変更）、平成16～18年度からはオーストラリアへ、2年次生160名（4クラス）が研修を実施してきた。平成19年度（総合学科13期生）は、燃油サーチャージ高騰や円安（当時）などの経済的影響もあって、13期生担任団は行き先の再検討をはじめ、時間をかけて行き先を台湾（本校では初）に決定した。

台湾は2001年より日本の文科省にあたる教育部が日本からの修学旅行団誘致と台湾人高校生の日本への海外派遣を積極的に支援している。2002年12月には「台湾国際教育旅行連盟」を設立し、海外教育旅行の企画・交流コーディネートをこなしている※1。同連盟をはじめ、さまざまな方面からの働きかけと協力をいただいて、国立淡水高級商工職業学校との相互交流（両校の生徒が互いに訪問しあい交流を深めた）が実現した。特に、台湾籍の本校保護者や台湾から筑波大学へ留学してきた院生・学生の協力をいただいて、無事に交流行事を終えることができた。

本稿では、今年度の校外学習にたいする取り組みを報告しながら、総合学科高校における海外校外学習プログラムの評価と、国際交流および高大連携の在り方について検証を試みたい。

### 2. 学習の目的と意義

今年度の校外学習では、相互交流とホームステイ実現による異文化理解、英語学習への意欲喚起、21世紀を担う高校生に「アジアの一員」という意識を持たせることなどを目標としてきた。同時に、校外学習の事前学習

や交流会準備などを担う実行委員会を組織し、学年全体を統括するリーダー育成や主体的な委員会活動への発展を視野に入れながら学習活動をおこなった。

また、総合学科の本校では、多様な教科・科目の配置と教科間の協働、高大が連携した教育活動を積極的に行っている。そこで、台湾での交流の場で、その成果発表をおこなうことを試みた。

今年度は、筑波大学農林技術センターと国際協力機構（JICA）と本校が共催する「筑波アジア農業教育セミナー（TASAE）」視察団に向けた「アジア各国の水資源」に関する研究発表を、台湾へ持ち込んで発表した。これは農業科の「農から見た環境科学」「環境創造」という二科目で行われた探究活動であるが、英語科との協働によって英訳発表が実現した。

このように、大学との連携を学習活動の場として積極的に取り組んでいる成果を、アジアからの来客のみならず海外においても発表の場をもつことができたことが、交流会の大きな成果のひとつである。多くの発表機会に恵まれた生徒は、場数をこなす経験によってプレゼンテーション能力が飛躍的に伸び、英語によるプレゼンテーションにも自信をつけ、英語学習の意義と重要性を体験的に理解することになった。

### 3. 立案から準備までの流れ【資料①】

#### (1) 計画段階

平成17(2005)年秋から13期生の担任団に内定した4名が校外学習先・内容の選定を始めた。台湾が日本の高校にたいして修学旅行団受け入れ先を探しているとの情報を得て、台湾の大使館にあたる台北駐日経済文化代表処文化部へ連絡を取ったところ、秘書の黄冠超氏の本

校訪問が実現し、相互交流の可能性について検討していただくこととなった。

平成18年度に入り、新入生（13期生）を迎え入れてから本格的に校外学習の行き先について職員会議の場での議論も行いながら行き先を絞り込んでいった。特に保護者・生徒には入学前の学校案内パンフレットでオーストラリアの写真が印象に残っているために、「なぜ台湾なのか、オーストラリアではダメなのか」という率直な疑問への対応が求められた。

保護者会で校外学習に対する教育方針について説明をおこない、旅行代理店への見積を繰り返して旅費を比較しつつ、保護者への意向調査を経て、少しずつ校外学習の学習意義、「相互交流」の持つ教育効果などを理解していただき、行き先を台湾にすることに了解していただいた。【資料②③】

## （2）台日高校生国際教育旅行シンポジウムへの参加と交流校決定

担任団4名のうち、後藤（学年主任）と奥村は、平成18年12月に台湾交通部（観光局）・台湾教育部が主催した「2006年度日台教育旅行シンポジウム」に参加し、日本の修学旅行団との交流を積極的に誘致する台湾各地の高等学校校長団と座談会を持ち、日台両者の教育旅行ニーズについて意見交換をおこなった。本校は校外学習のスケジュールや学校のマッチング、日本からの修学旅行団受け入れの実績などの観点から、配布された資料※2をもとに、校長が台湾国際教育旅行連盟の会長を兼任する国立淡水商工職業学校との交流を行う方針で、教育旅行代理店に話を進めてもらうことを決定した。

## （3）実地踏査、旅程計画、事前学習

平成19年3月に担任団4名で実地踏査を行って同校を訪問し、顔合わせと交流会の打ち合わせをおこなった。また、旅行代理店による提案で台湾大学も訪問し、日本語学科の何瑞藤名誉教授による日本語の講話を実施していただくこととなった。これらをふまえ、平成19年度の校外学習は12月に4泊5日の日程で2年次生160名が実施することとなった。【資料④⑤】

事前学習は、2年次の「総合的な学習の時間（週1時間）」のなかで実施した。1学期は中国語講座や台湾文化学習、日本文化との比較文化レポート作成などをおこない、台湾への興味喚起を目指した。夏休みの宿題としてパスポート取得を課し、2学期からは班別自主研修の計画や交流会準備、英会話学習、宿泊班決めやバスの座席決定、しおりの原稿作成、任意保険加入手続きや両替

など、具体的な旅行準備について校外学習委員を中心に作業を進めていった。【資料⑥】

台湾の紹介や中国語講座には、前述した筑波大学の院生や本校保護者に協力を依頼し、快く引き受けていただいた。学校の近隣に住む保護者の陳氏は、生徒が卒業した後もボランティアスタッフとして協力していただけることである。また、筑波大学の院生の皆さんも、大学と本校との距離はあるものの、筑波エクスプレス開通により交通手段が確保されたこともあり、今後も協力してくれるとのことである。

## 4. 校外学習の実際（2回の交流会）

平成19年12月6日に淡水商工高校を訪問した本校2年次生は、午前は講堂で全体会、午後はグループ別の体験講座、放課後は交流相手と一緒に淡水の街を散策した。獅子舞や衛兵交代ショーなど華やかなパフォーマンスと淡水商工生による熱烈な歓迎ぶりに本校生徒は驚きつつも、事前に準備してきた英語による学校紹介や、演劇部の寸劇とダンスなどを披露した。本校生徒の希望者20名が2名1組でホームステイを実施し、カタコトの英語とジェスチャーで台湾人家庭に受け入れてもらった。

【資料⑦⑧⑩】

また、最終日には班別自主研修を実施し、台北市内を中心に、MRT（地下鉄）やバス、タクシーなどを使って各班が思い思いの場所を訪れた。各班1名の学生通訳ガイドが同行し、非常時に備えた。【資料⑩】

台湾から帰国して2週間後、こんどは淡水商工生68名が本校を来校した。午前に体育館での交流会、午後に各専門教科（農業・工業・商業・家庭・福祉など）の体験授業に参加し、希望者のホームステイを実施した。体験授業（全9講座）には、筑波大学に留学している台湾人の院生・学類生8名と台湾籍の本校保護者に通訳の協力を依頼した。【資料⑫⑬】

坂戸での交流会は忙しい日程のなかでの準備となったが、後述する生徒の満足度調査にもあるように、生徒は交流会で充実した時間を過ごすことができたようだ。

## 5. 台湾招聘教員研修事業

ことし2月末に、筑波大学附属学校教育局が支援する教員研修事業として、台中市の私立高校である新民高級中学から日本語学科教師の林麗容氏を7日間招聘し、教育研修と本校教職員との交流をおこない、今後の台湾校外学習や国際交流活動にむけた助言・提案をいただいた。本校ではアフガニスタンからの教員招聘の実績（3年間）があったため、研修プログラムも比較的スムーズに

計画することができた。また、林氏の堪能な日本語に助けられ、コミュニケーションにもほとんど問題がなく、生徒たちも気軽に林氏に話しかける場面を見ることができた。【資料⑮】

## 6. 実践の評価

台湾から帰国後と、坂戸で淡水商工を迎えた交流会後にそれぞれ生徒の満足度調査をおこなった。また、交流会における筑波大留学生通訳からの評価や交流相手校の生徒感想から、校外学習における国際交流について成果と課題の検証をおこなう。

### (1) 生徒満足度調査【資料⑭-1, 2】

質問紙により、台湾校外学習と坂戸での交流会の各項目について、肯定的・否定的回答（4段階）と、「後輩に向けたメッセージ」という形で自由記述をおこない回収した。回答データ入力には個人名が特定できない形で校外学習委員に協力を依頼した。

【資料⑭-1グラフ】の結果をみると、2日目夕食（湖南料理）と3日目昼食（淡水商工での弁当）に対する不満が目立つ。台湾の食事については、米飯中心の料理であるため生徒の不満は少ないと予想していたが、意外にも「匂い（スパイス）がきつい」「油っぽい」など、ふだんの日本食との違いに慣れず胃腸炎で体調を崩す（嘔吐・発熱）生徒が2割近くにのぼった。また、旅程スケジュールも初年度の気合いでいろいろ欲張りすぎ、睡眠時間が少なくなってしまうことも体調不良者の増加の要因となったようだ。【資料⑭-1表】の記述からも同様の傾向が示された。教員たちが予想している以上に年々生徒の体力や異文化への適応力は低下しており、生徒の実情に合わせた校外学習プログラムの検討は今後の課題のひとつといえるだろう。

その一方で、班別自主研修をはじめ淡水タウンウォッチングなど生徒が主体的に現地で活動する項目については高い満足度を示し、交流会についても概ね良好な回答が得られた。特に午前の体育館でのステージ発表は、該当生徒が時間をかけて努力したものであったが、直接参加しない生徒達からも高い満足度を得られたことは、生徒同士の交流が持つ魅力だと思われる。

【資料⑭-2グラフ】からは、系列体験講座に高い満足度が示されている。これは、台湾で出会った淡水の高校生たちが、はるばる坂戸を訪れてくれた（再会できた）よるこびと、授業をとおして交流できた楽しみ・喜びが素直に示された結果と思われる。また、【資料⑭-2表】で特徴的な結果が示されたのは、台湾への校外学習後よりも、「英語学習の重要性」について指摘している生徒

の割合が大きく増えている点である。これは、系列体験講座のなかで淡水商工の生徒に作業を指示したり情報交換するときに、「何で説明したらいいかわからない！」

「もっと英語を勉強しておけばよかった」「淡水のコの方がずっと英語がしゃべれる」【資料⑬】といった苦労を経験するなかで生まれた感想である。台湾で淡水商工の生徒たちの大歓迎を経験し、「自分たちも彼らをもてなしたい」というゲスト意識を持ちつつも、言葉の壁に苦労した生徒たちの率直な感想が、今後の学習意欲喚起に結びつくことを期待したい。

### (2) 教員・通訳による評価

【資料⑬】は、系列体験講座を担当した教員と、これに同席した通訳による評価を、生徒のふりかえり（感想）とともに、各講座ごとにまとめたものである。

本校では68人もの海外高校生を一齐に授業に参加させる経験は初めてのことで、教員側にも多少の混乱があり、通訳の方々の支援が非常に大きな役割を担っていた。代表の蔡碧月氏とは事前の打ち合わせをEメールでおこなっていたが、蔡氏の指摘にもあるとおり、系列の専門性によってはもっと早い段階に指導案（授業の要項）などの情報を通訳と共有することができれば、より効果的なパフォーマンスを提供していただけたようだ。また、当日は冷え込みの厳しい日だったので、温暖な台湾の生徒たちには体育館の行事や暖房のない部屋での作業は寒さが厳しいとの指摘を受けた。事前に交流校にたいして注意を促す配慮が必要であった。

一方、教員側からは、「両校の生徒が共同でおこなう作業・問題解決」の難易度とタイムマネジメントの工夫が指摘された。まだまだ本校教員の経験が少ない分野ではあるが、今後の国際教育発展に向け、経験の蓄積が求められるだろう。

### (3) 保護者による評価

校外学習と交流会が終わった3月上旬に保護者会を開き、報告と懇談をおこなった。生徒が台湾での様子をデジタルビデオカメラで撮影し、後日編集した映像ドキュメントDVDを放映し、保護者から高い評価を得た。卒業式に発行された学校広報誌「筑坂」にも、PTA広報委員さんたちが編集に時間をかけてくださった「校外学習」の特集ページが見開き2ページカラーで掲載された。保護者会では胃腸炎で体調を崩す生徒が出たことや、欲張ったスケジュールに対する指摘もいただいたが、ホームステイ受け入れの苦労と感動、子どもたちから交流のようすを聞いて、今回の校外学習・交流会について

一定の評価をいただけたのではないかと思う。

#### (4) 交流先の生徒による評価

平成20年3月に、淡水商工から研修旅行で来日した淡水生たちによる感想文集が送られて来たので、通訳をお願いした蔡氏に翻訳を依頼した。淡水の生徒たちは、本校での校流会やホームステイで楽しんだ思い出を率直に綴っており、様々な発見や感動が伝わってきた。今回の2回の交流が本校生徒だけでなく淡水の生徒にも大きな成果をもたらしたことを実感することができた。

国立淡水商工学務処訓育組編「96年師生赴日本教育旅行果彙編」P15より（翻訳：蔡碧月）

#### 八、学校交流体験（ビジネス学科2年生女子の感想文）

筑波大学附属坂戸高等学校についた時に、筑坂の学生達が台湾の国旗を持って、歓迎してくださいました。体育館に入ったら、世話係の筑坂の学生達が淡水商工の学生達の名前を書いたポスターを挙げて探していました。私の世話係となっているのがFさんとIさんです。

歓迎会が始まったら、淡水商工の校長先生と筑坂の副校長先生が挨拶をして、両校のプレゼントを交換しました。そして、両校の生徒達の挨拶及びプレゼント交換がありました。次に、両校学生達のご披露が始まりました。淡水商工の一つ目のショーは曲笛とピアノの演奏でした。その次はカクテルパフォーマンスでした。筑坂の学生達がカクテルパフォーマンスを見て、すごく興奮して、ずっと拍手して素晴らしいと言いました。

次は、筑坂のご披露についてです。まずはダンスの部のご披露で、その次は楽団演奏です。一番印象に残ったのは、演劇部のショーです。この前、演劇部が台湾で、ウォーターボーイズを演じました。すごく面白かったので、特別に印象深いです。今回のテーマは忍者でした。同じく非常に面白かったです。演劇部は非常に素晴らしいと思えました。伝統的な日本舞踊（ソーラン節）のご披露が歓迎会の最後を飾りました。

午後は体験講座でした。アパレル体験グループの皆さんは手作りの浴衣を着て、巾着袋の作り方を教えてくださいました。まずアイロンとミシンの使い方を教えてもらって、その後は自分で作りました。皆さんは私がミシンを使って縫った線がとてもきれいとおほめてくださいました。とても恥ずかしかったです。なぜかと言うとミシンを使ったのは初めてでした。巾着袋を完成してから、先生が今年の成果発表会（文化祭ファッションショー）の映像を見せてくださいました。筑坂の皆さんは本当に

すごかったです。

この一日の交流及び体験はとても楽しくて、また、皆さんの才能を見る事ができ、非常によかったです。今後機会がありましたら、また筑坂を尋ね、もう一度交流と体験を参加したいと思います。

## 7. 評価のまとめと今後の課題

### (1) 校外学習先の選定について

(財)日本修学旅行協会編『教育旅行白書』※2によれば、海外修学旅行へ出かける中高生は平成19年度は16万人を越え高等学校ではそのうちの約3%が台湾を訪問している。この数値は、最多のオーストラリア(16%)、第2位の韓国(14%)、第3位の中国(11%)に比べるとかなり少ない。しかし、本校の校外学習積立金予算14万円以内で、しかも公立高校の平均値11万円程度で実施でき、なおかつ充実した現地高校生との交流活動を実施できる校外学習先という選択となれば、台湾は効果的な選択だったと評価できる。出発前には感染症やテロリズム、政治不安や自然災害など、生徒の安全管理の観点から海外校外学習への不安の声が保護者からも寄せられた。その一方で、台湾はじめ近隣諸国からの訪日教育旅行は今後も増加することが予想され、学校訪問の受け入れや相互交流については、グローバル化の発展とともにますますニーズが高まっていくだろう。【資料⑤】学校と関係機関の危機管理体制を整備しつつ、こうした海外からの受け入れ体制づくりを進めていくことが、国際理解教育の発展に必要な不可欠となっていくのではないだろうか。

### (2) 大学との連携について

今回の台湾招聘教員研修事業や筑波大留学生通訳の活躍について、大学とのよりよい連携のあり方を再考察する契機となった。前者は筑波大学学校教育局から国際化対応経費支出というかたちで支援をいただき、研修が実現した。また、留学生たちの積極的な協力の背景には、大学と附属学校との連携強化の意識が高まってきたとも言えるだろう。大学（または学生）と本校両者のニーズやメリットが生まれる形の連携であれば、関係者の負担感よりも達成感が大きくなり、継続的な連携体制構築が可能となるのではないだろうか。

### (3) 校外学習のインフォーマルエデュケーション

校外学習では、短期間であっても生徒は海外で生活する時間を体験する。広田(1997)は、海外生活経験者を「異質性の体験者」と表現し、「自らの『異質性』を

認識することで自らの文化習慣を絶対視する意識から解放され、文化習慣を相対化する姿勢を身に付けることができるという。※4

こうした意識変化は、異文化理解のみならず、障がい者にたいする意識改革など、「他文化共生」が求められる現代の日本社会において、生徒たちが経験すべき重要な学びのひとつと言えるだろう。

松岡（2007）の言葉をかりれば、生涯学習論において注目される「インフォーマルエデュケーション」についても、校外学習や交流会は大きな学習効果が期待される。※5

インフォーマルエデュケーションは、必ずしも教育的意図が明確ではないが、偶発的な学習が生じえる場や活動（地域・家庭の教育力、サークル・文化活動など）が、多様な「気づき」（学習意欲の喚起）を生む場をつくる。坂戸での交流会において、生徒たちが「英語学習の必要性」について気づいたことも、こうした教育効果によるものであろう。

松岡はさらに、国連が定めた教育方針「ESD：Education for sustainable Development（持続可能な開発・発達のための教育）」についても触れ、今後世界規模で期待される教育のあり方について、「教育・学習・活動の総合化」を指摘している。これは、現代的な課題（環境・福祉・人権・国際理解・情報）に対応する教育実践の総合化、意識と行為の一体化を示すものであり、まさに21世紀に求められる総合学科の教育実践イメージと言える。多忙を極める学校現場のなかで、さまざまな体験型学習プログラムの開発には多くの時間と労力が必要であり、今秋告示される学習指導要領の方針との兼ね合いも懸念されるところではあるが、国際交流を通じた相互の文化尊重や他文化共生の意識が生徒・教員・保護者、さらには地域社会に浸透していくことが、今後の課題である。

#### 【資料リスト】

- ① 2年次台湾校外学習をめぐる生徒・教員・保護者の動き（年表）
- ② 保護者意向調査集計結果
- ③ 旅行先の旅費比較表
- ④ 旅程表
- ⑤ 対応組織図
- ⑥ 「台湾校外学習しおり」目次
- ⑦ ホームステイ希望者自己紹介フォーム
- ⑧ 台湾でのホームステイアンケート（抜粋）

- ⑨ 日本でのホストファミリー体験アンケート（抜粋）
- ⑩ 班別自主研修コース一覧表
- ⑪ 淡水での交流会プログラム
- ⑫ 坂戸での交流会プログラム
- ⑬ 坂戸での交流会・系列別体験授業の記録⑭ 生徒の評価（グラフ）
- ⑮ 台湾招聘教員研修概要

#### 【参考文献】

- ※1 台湾国際教育旅行連盟「2006年台日教育旅行研討會手冊」p.22～26
- ※2 台湾教育部編2006年『台湾の高等学校国際教育旅行交流成果集－世界と友達になろう－』p.17～18
- ※3 財団法人日本修学旅行協会『データブック教育旅行白書2008年版』p.44～57
- ※4 毛受敏浩・鈴木江里子編著2007『「多文化パワー」社会－多文化共生を越えて－』明石書店p.54
- ※5 兵庫県立神戸甲北高等学校編2007『総合学科の挑戦－神戸甲北高校キャリア教育の10年－』学事出版p.109～111

【資料①】 2年次台湾校外学習をめぐる生徒・教員・保護者の動き(年表)

年	月	できごと	教員側の動き・準備
2005 (平成 17)	10	旅行代理店へ見積(第1次) マレーシア・シンガポールを 候補に検討	経済的・時間的負担が少なく、現地高校生との交流を希望
	11	見積依頼(第2次・台湾)	「台湾の修学旅行団が日本での交流受入高校を探している」との情報を入手
	12	台北駐日経済文化代表処 の黄冠越氏の来校	台湾教育部(文科省)が戦略的に海外修学旅行支援をおこなっているとの情報入手

年	月	できごと	教員側の動き・準備
2006 (平成 18)	5	職員会議	「情報C」の授業でおこなう「生徒による校外学習計画」の扱いについて、これまでの行き先であるオーストラリアに限定しないことが了解される
	6	教育旅行代理店3社へ見積 依頼(第3次)	旅費比較表作成のため、4方面(①オーストラリア、②台湾、③マレーシア・シンガポール、④その他推薦する行き先)の条件で見積を依頼した。
	6	保護者へ校外学習に関する 意向調査(質問紙)	詳細は資料。
	7	産社収穫祭(保護者会)	意向調査の結果をふまえ、校外学習に関する担任団の意向、学校の方針、現段階の候補先(台湾)等について説明した。
	9	教務部行事係へ資料提出	職員会議で校外学習の行き先変更を検討することについて了解される。
	10	保護者会	台湾を前提に行き先を検討していることを説明し、行き先変更の経緯や今回の校外学習の目的・意義について説明、保護者からの質疑応答を受ける。
2007	12	台日高校生国際教育旅行シ ンポジウムに参加(後藤・奥 村)	台湾での交流先選定と台湾の文化理解のため、自費で参加。淡水商工職業学校が候補にあがる。
	3	実地踏査(後藤・竹内・奥 村・渋谷)	淡水商工、台湾大学を訪問し、交流・見学の計画について打ち合わせをおこなう。淡水商工については相互交流の可能性について打診する。

年	月	できごと	教員側の動き・準備	総合的な学習の時間	校外学習委員会の活動	
2007 (平成 19)	4	3年次生保護者の陳正芬氏より申し出があり、ボランティアとして台湾校外学習の事前学習を手伝っていただくことになる。		ガイダンス(年間計画と学習目標について)	各クラス2～4名選出	
	5・6	台湾文化講座担当:茶藝(後藤)、文化(奥村)、中国語(陳)、生徒支援(竹内・渋谷)		台湾文化講座(各クラス全4回)、講座内容をふまえ、比較文化レポート作成	講座の手伝い(プリント配布、講師助手等)	
	7	歌舞伎鑑賞教室(国立劇場)	事前講義、鑑賞のしおり配布、事後レポート作成(舞台図スケッチ、しおりの内容確認小テスト)		国立劇場の座席決め、座席表作成	
	8	淡水商工の来校決定			パスポート申請・作成(夏休み課題)	
	9	中華航空事故を受け、航空会社変更を検討(日本アジア航空)	職員会議に航空会社変更とホームステイ受け入れ家族募集要請(全学年)を提案	班別自主研修のグループ分け、研修計画	「交流会」班と「しおり作成」班に分かれて準備開始	
	10	職員会議	交流会にともなう特別時間割の提案を了解される	交流会・全員合唱「世界に一つだけの花」練習、ベルリッツによる英会話講座、淡水での交流会体験講座のグループ分け	しおり原稿依頼、目次確認、バスの座席、ホテルの部屋割、交流会出演者決定(司会台本作成)	
		保護者会	航空会社変更の経緯と旅費値上げ、交流会・ホームステイ、校外学習上の具体的留意点等について説明			
	11	両替、任意保険加入最終確認	2学期末考査中にしおり印刷・製本作業	交流会(舞台出演)リハーサル、しおり読み合わせ(旅の注意説明)	しおり原稿作成・編集	
	12	台湾校外学習(4～8日)			しおりに日誌記入	食事の挨拶、ミーティング(HR委員も同席)
		ホームステイ受け入れ家族への説明会(16日)				
		淡水商工来校(19日)	交流会準備(体験講座、通訳依頼、ホームステイ受け入れ、プログラム作成、舞台作成、歓迎国旗・看板等)			
	ふりかえりアンケート実施			ふりかえりアンケートによる自己評価		
2008 (平成 20)	1	台湾招聘教員研修が決定	受け入れ準備		アンケート集計	
	2	同研修(24日～3月1日)	詳細は別紙。	林先生の講話(1・2年次生)		
	3	筑波大学教育学会にて実践報告				

## 【資料②】 2年次校外学習・保護者意向調査 集計結果

2006年6月実施 160名中88名回答(55%)

### 1. 行き先の検討についてのご意見

	人数	理 由	人数
オーストラリアが良い	29	大自然に感動して欲しい	6
		子どもが望んでいる	4
		なるべく遠い国へ行って欲しい	4
		治安上安全である	3
		事前説明で期待していた	3
		イメージが良い	1

校外学習希望場所	人数
オーストラリア	29
シンガポール・マレーシア	7
台湾	9
国内	5
韓国	1
中国	1
国内	5
どこでも良い	41

	人数	希望場所 (複数回答有り)	人数	理 由	人数
オーストラリアでなくとも良い	59	シンガポール・マレーシアを希望	7	多国籍の国でおもしろい	2
				子どもが望んでいる	1
				社会見学の学習の充実	1
				英語会話の経験が一番できるのではないか	1
		台湾を希望	9	余裕をもったプランが可能である	5
				近くて遠い国である	1
				親日的である	1
どこでも良い	41	社会見学の学習の充実	1		
		日数を減らして欲しくない	8		
		目標を達成ができる場所がよい	7		
		治安が良いところならどこでも良い	2		
		将来の日本を考えるとアジア方面が望ましい	2		
韓国を希望	3	体験を重視してほしい	1		
		オーストラリアは紫外線が強い	1		
国内を希望	5	実績がある	1		
		近いので交流しやすいのではないか	1		
		日本の文化にもっと触れて欲しい	2		
中国を希望	1	安全である	1		
		沖縄で平和教育をしてほしい	1		
				体験を重視して欲しい	1

### 2. 旅費が10万円を超過することへのご意見 ( )は人数

(時代の流れ・原油高騰などの理由で)超過もやむを得ない(29)／必要な費用は捻出する(2～3万オーバーは仕方ない・内容の充実を求める(23)／積立金範囲内で行き先を検討してほしい(17)／オーバー分は積み立て等で対処してほしい(5)／無理のない金額で行えるものがよい(5)／旅費以外の自己負担分の金額を少なくしてほしい(3)／せっかくの機会で旅費もかかるので4泊はさせたい(2)／超過する金額による(2)／泊数を減らしたりオプションや食事回数の減少は避けてほしい(1)／生徒にとっての学習の必要性で決めてほしい(1)

### 3. その他(ご要望など) ( )は人数

海外にこだわらず、日本の良さ・歴史を伝える場所もよいのでは(7)／何をねらいとするのか皆が理解しているなら、行き先は一任したい(3)／韓国で実施してきた経緯もあるので、再び原点に戻ってみることも必要と思う。(SARSは心配ないと思う)(2)／海外は生徒たちの得るものが多いのでぜひ実施してほしい(2)／海外は生徒たちの得るものが多いのでぜひ実施してほしい(2)／目的や趣旨にそったプランを企画すべき。得るものが多い学習活動となりますよう再検討して下さい(2)／家族数名がオーストラリアで大自然を味わいましたのでオーストラリアを希望(以下各1)／とにかく衛生面・治安面での安全を強く望む、親として子どもの希望にそえるようにしたい／治安面でもオーストラリアを望む／子どもたちがよい思い出を残せる有意義なものにしていただきたい／アジア方面はやめてほしい 子どもにとってオーストラリアは特別な思いを抱いているのでぜひ行かせてやってほしい／子どもも親もオーストラリアを期待しております／このアンケートを参考に、先生方が生徒にとって一番よいと思われる地を選んで下さると信じています／生徒が海外の体験学習で何をやりたいかがポイント／旅費を安くするあまりに自由すぎるプランだけはやめていただきたい(学習の意義がない)／日本という国に理解があり、安全に活動できる国であればどの国でも安心して子どもを送り出します。／校外学習はまたとない経験が出来る行事ですので、必ず実行して下さい。／治安や食事、フライト時間など検討すると、台湾も良いと思います。／筑坂の校外学習の意義を無くさないようお願いいたします。／詳しい行き先は分からないので、希望だけを書きました。よろしく願います。／名所旧跡を訪ねる観光旅行より一般市民の生徒と接し異文化体験を深めてほしい／英語公用語圏の海外を希望する／修学旅行は「楽しい」ものとするので、教育的見地は求めない。むしろ「印象」に残る場所がよい／英語力をためすのであればシンガポールでよいと思います／今までオーストラリアに行っていて慣れてきている分、安心かなと思います。／新地へは下準備も大変なのでは？／内容の充実性をとるのなら、もっと近場に変えてもいいのでは。(場所よりも思い出になることを)／学習の意義が異文化理解・国際交流ということであれば、韓国や中国、台湾などの「近くて遠い国」が良いのでは？／英語圏へ旅行で行っても英語力育成は難しい。日本という国土・国民性の小ささ、単一性とは異なる世界の広さを何らかの形で感じられる内容であってほしい。／

【資料④】2年次校外学習旅程 平成19年12月4日(火)～8日(土) 4泊5日間

日次	月日(曜)	地名	現地時間	交通機関	スケジュール	食事
1	12月4日(火)	成田空港発 成田(桃園)空港着 台北(桃園)空港発 台北(桃園)空港着	10:45 13:25 16:20 17:10	E G 2 0 3 専用バス	成田空港集合(43名) 台北へ(43名) 入国・税関手続き(43名) バスにて台北市へ(43名) ホテルで夕食(43名) 成田空港集合(129名) 台北へ(129名) 入国・税関手続き(129名) バスにて台北市へ(129名) ホテルで夕食(129名)	昼:機内 夕:ホテル(43名)
	12月4日(火)	成田空港発 成田(桃園)空港着 台北(桃園)空港発 台北(桃園)空港着	13:45 16:30 19:25 20:20	E G 2 0 5 専用バス	成田空港集合(129名) 台北へ(129名) 入国・税関手続き(129名) バスにて台北市へ(129名) ホテルで夕食(129名)	夕:ホテル(129名)
2	12月5日(水)	故宮博物院発 故宮博物院着 台北市内レストラン 台北(桃園)空港発 台北(桃園)空港着	08:30 09:00 11:00 11:30 12:50 13:40	専用バス	ホテル出発 故宮博物院見学 台北市内レストランにて昼食(11:30～12:30) 公園見学(12:50～13:20) 台湾大学到着 台湾大学にて大学教授による特別講話(14:00～15:00) 購読後、台湾大学生による大学キャンパス見学(8班、15:15～16:30)	昼:レストラン(新永楽)
3	12月6日(木)	淡水高校発 淡水高校着 台北市内レストラン 台北市内レストラン	09:00 09:45 17:00 17:15 18:00 19:30	専用バス	ホテル出発 学校交遊会 1日交流プログラム ホムステイ参加生徒はホムステイ宅へ(20名) 市内レストランにて夕食 ホテルへ ＜ゴールデンチャイナホテル泊＞	朝:ホテル 昼:学校 夕:レストラン(華綠)
4	12月7日(金)	台北(桃園)空港発 台北(桃園)空港着 台北(桃園)空港発 台北(桃園)空港着	08:30 16:30 18:00 19:30	専用バス	ホムステイ生徒は淡水駅集合、電車でホテルへ ホテル出発 台北市内班別自主研修 ・現地の大学生と共に班別で台北市内見学 ・生徒8名につき大學生1名(21班編成) ・本部、集合はDFS 台北市内レストランにて夕食 夕食後、中華伝統舞台芸能「タイペイアーム」鑑賞(19:30～21:30) ホテル着 ＜ゴールデンチャイナホテル泊＞	朝:ホテル 昼:各自 夕:レストラン(鉄木倉)
5	12月8日(土)	台北(桃園)空港発 台北(桃園)空港着 成田空港発 成田空港着	08:30 11:50 13:20 17:15 08:30 11:00 12:20 14:30 18:25	専用バス E G 2 0 4 専用バス	台北市内見学(43名) ・忠烈廟(08:50～09:30)(43名) ・台湾民主紀念館(09:50～10:20)(43名) 空港で弁当屋食 出国手続き(43名) 成田へ(43名) 入国・税関手続き(43名)・解散 台北市内見学(129名) ・忠烈廟(08:50～09:30)(129名) ・台湾民主紀念館(09:50～10:20)(129名) 空港で弁当屋食(129名) 出国手続き(129名) 空路、成田へ(129名) 入国・税関手続き(129名)・解散	朝:ホテル 昼:ボックス弁当(43名) 昼:ボックス弁当(129名)

【資料③】2年次校外学習旅行先の旅費比較表(2006/7/28作成)

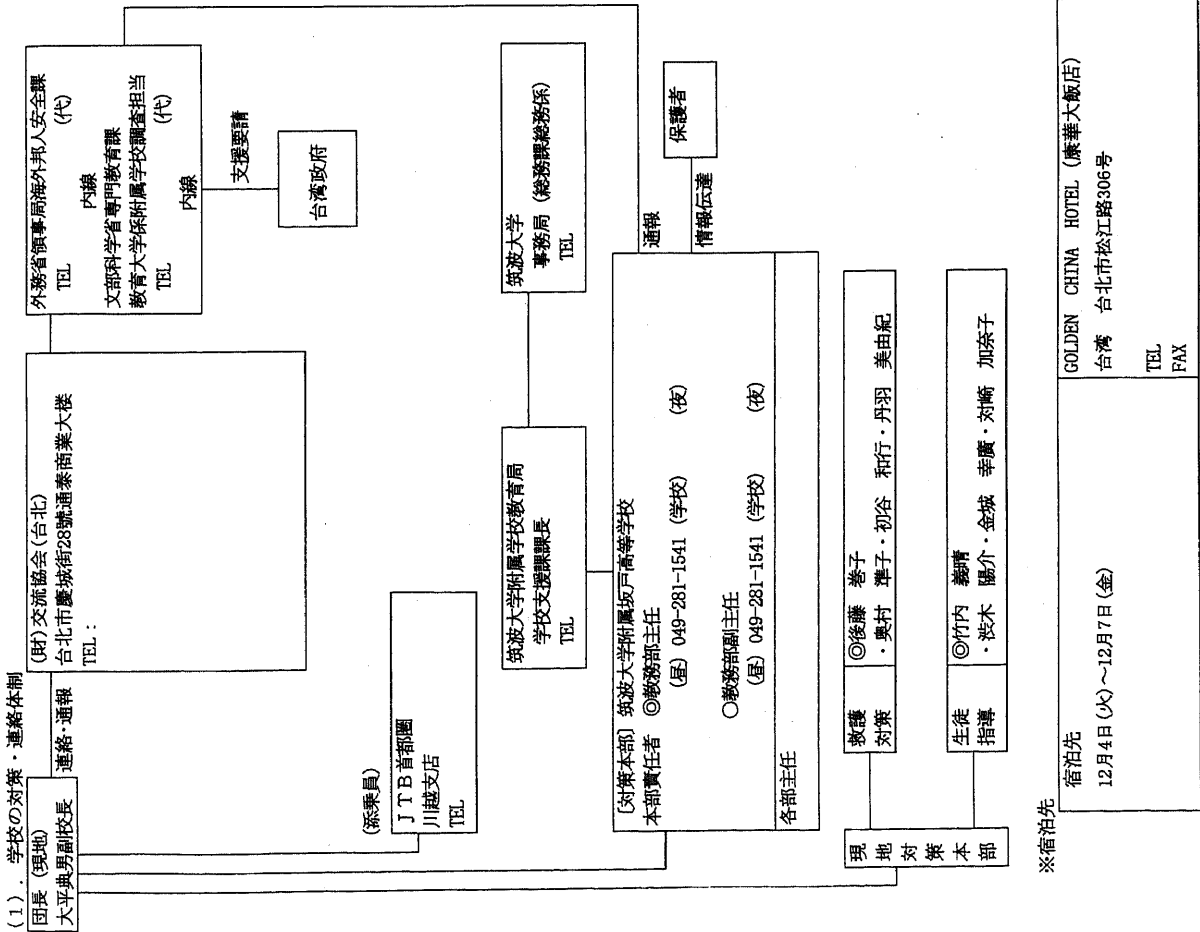
A社	3時間半	7時間	7時間10分	7時間	7時間
旅行先	台湾	シンガポール & マレーシア	マレーシア	シンガポール	オーストラリア
泊数	4泊5日	5泊6日	3泊5日	4泊5日	3泊5日
食事	全て	1回各自(機内食2) あり	機内泊1(機) 全て	機内泊1(往復) 全て	マカリアーフォーブス(6泊7日) 機内泊1(行)
現地校交遊	あり	あり	あり	あり	なし(ある場合)
フライト時間					7000
オプション					オプション6000～16000
費用	99000	112000	83000	97000	109500
石油十	7800	13000	13000	13000	16000
計	106800	125000	96000	110000	124500

B社	3時間半	6時間半	7時間	7時間	7時間
旅行先	台湾	シンガポール & マレーシア	シンガポール & マレーシア	シンガポール & マレーシア	オーストラリア
泊数	4泊5日	3泊5日	3泊5日	3泊5日	マカリアーフォーブス(6泊7日)
食事	全て	機内泊1(機)	全て	機内泊1(機)	機内泊1(行)
現地校交遊	あり	あり	あり	あり	なし
費用	110200	127000	121060	129000	164000
石油十	7800	13000	7940	7940	16000
計	118000	140000	129000	129000	180000

C社	3時間半	7時間	7時間	7時間	7時間
旅行先	台湾	シンガポール & マレーシア	シンガポール & マレーシア	シンガポール & マレーシア	オーストラリア
泊数	4泊5日	4泊6日	3泊4日	3泊4日	マカリアーフォーブス(6泊7日)
食事	1回各自(昼)	1回各自(昼)	1回各自(昼)	1回各自(昼)	機内泊1(行)
現地校交遊	あり	あり	あり	あり	1回各自(昼)
費用	106700	105700	93200	95400	120700
石油十	7800	13000	13000	13000	16000
計	114500	118700	106200	108400	136700



【資料⑤】 寸心系組織図 (事故発生時の対策・連絡体制)



※台湾駐日経済文化代表處  
〒108-0081 東京都港区白金台5-20-2 TEL (代)

※JT B台湾  
5TH FLOOR SOUTH EAST BLDG., 60  
CHUNG SHAN NORTH ROAD SECTION 2, TAIPEI 104 TAIWAN  
TEL FAX

【資料⑥】 「台湾校外学習しおり」目次

行程表 ..... 1

台湾校外学習に寄せて<副校長先生> ..... 2

<年次主任・校外学習委員長> ..... 3

校外学習の「実施要領」・「諸注意」 ..... 4

日程表 ..... 8

バス座席表 ..... 18

ホテル部屋割り表 ..... 22

淡水高校交流会  
・ 淡水高校基礎知識 ..... 27

・ 交流会プログラム ..... 28

・ 歌詞カード ..... 29

・ 体験講座名簿 ..... 30

・ 淡水散策名簿 ..... 31

ホームステイ  
・ ホームステイとは ..... 32

・ ホームステイ参加者名簿 ..... 33

台湾自主研修  
・ 班名簿 ..... 34

・ コース一覧 ..... 35

見学先の紹介  
・ 台湾大学 ..... 37

・ 故宮博物院 ..... 38

・ 中華伝統舞台芸能「タイパイアイ」 ..... 39

・ 忠烈祠 ..... 40

・ 台湾民主記念館 ..... 40

国際電話のかけ方・台湾ドルについて ..... 41

中国語・英語講座 ..... 42

現地連絡先一覧 ..... 44

日誌のページ ..... 45

自己紹介カード ..... 47

台湾地図 ..... 48

台湾路線図 ..... 48

メモ ..... 49

健康観察表



☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆

【資料の】 ホームステイ希望者自己紹介フォーム

**HOMESTAY APPLICATION FORM**

この申込書はホストファミリーを募集する重要な資料です。記入については本年の夏のホームステイプログラムで全項目ご記入下さい。住所は丁目、番地から英語式にご記入下さい。

COURSE (コース名)	ステイ日 2007年 12/6	コース名(日本語) 筑波大学附属坂戸高等学校 台湾校外学習	No.
NAME (名前)	Family Name (姓) Kawagoe	Given Name (名) Atsuko	漢字 川越 篤子
ADDRESS (現住所)	(日本語) 〒350-1123 埼玉県川越市藤田本町 15-18 モルティビレッジA.203 (英語) Multivillage 4203, 15-18 Wakitahonmachi, kawagoe-shi, SAITAMA, JAPAN Phone Number/ Fax Number (電話番号/ファクス) 049-246-5813/241-3492		
DATE OF BIRTH (生年月日)	Day (日) Month (月) Year (年) 01/11/1990	Blood Type (血液型) A	SEX (性別) <input type="checkbox"/> Male (男) <input checked="" type="checkbox"/> Female (女)
NAME OF SCHOOL (在学校)	TSUKUBADAIGAKU HUZOKU SAKADO HIGH SCHOOL Age (年齢) 17 Nationality (国籍) JAPANESE		
FAMILY MEMBERS (家族構成)	Relation (続柄) Father Mother Brother Sister	Given Name (名前) Fumihiro Mitsuko Michio Satoko	Occupation (職業) Office Worker House Wife High School Students Primary school student
ENGLISH SPEAKING ABILITY (英会話能力)	<input checked="" type="checkbox"/> Beginner <input type="checkbox"/> Elementary <input type="checkbox"/> Lower Intermediate <input type="checkbox"/> Intermediate		
PERSONALITY (性格)	<input type="checkbox"/> Affectionate <input checked="" type="checkbox"/> Curious <input type="checkbox"/> Open <input type="checkbox"/> Quiet <input type="checkbox"/> Kind <input checked="" type="checkbox"/> Friendly <input type="checkbox"/> Independent <input checked="" type="checkbox"/> Positive <input type="checkbox"/> Serious <input type="checkbox"/> Humorous <input checked="" type="checkbox"/> Cheerful <input type="checkbox"/> Sociable <input type="checkbox"/> Talkative <input type="checkbox"/> Cooperative		
DO YOU MIND IF YOUR HOST FAMILY HAS PET? (ペットについて)	<input type="checkbox"/> NO <input checked="" type="checkbox"/> YES I am allergic to (右の動物にアレルギーがある) <input type="checkbox"/> dog (犬) <input checked="" type="checkbox"/> cat (猫) <input type="checkbox"/> other (その他) Condition (状態): <input checked="" type="checkbox"/> Pet outside is O.K. (屋外で飼っている場合は問題ない) * 動物アレルギーがある方も飼育を許さない家庭を避けてください。屋内・外どちらも不可 Do you require special medical treatment or medication? (あなたは病状のために定期的に通院、および常用している薬がありますか?) <input type="checkbox"/> NO <input checked="" type="checkbox"/> YES		
HEALTH (健康)	If Yes What sickness (病名) Asthma (喘息) condition (程度) Slight (軽度) What medication (薬の名前) _____ * 常用している薬がある方は英文の処方箋を提出していただきます		
ALLERGIES (アレルギーについて)	<input type="checkbox"/> NO アレルギーはない <input checked="" type="checkbox"/> YES アレルギーがある What kind of allergy? どんなアレルギーですか <input type="checkbox"/> Skin Rashes アトピー性皮膚炎 <input type="checkbox"/> Hivesじんましん <input checked="" type="checkbox"/> Sinus Problems 鼻炎 <input checked="" type="checkbox"/> Hay fever 花粉症 <input checked="" type="checkbox"/> Food 食品 <input type="checkbox"/> Milk (牛乳) <input type="checkbox"/> Others その他 ( )		
OTHER CONDITIONS (その他の条件について)	Do you like children? 子供は好きですか? <input type="checkbox"/> NO <input checked="" type="checkbox"/> YES		
SPORTS/HOBBIES IN INTEREST (趣味・特技など) □欄にチェックして下さい。	Fishing <input type="checkbox"/> 釣り Rugby <input type="checkbox"/> ラグビー Soccer <input type="checkbox"/> サッカー Skii-Snow board <input type="checkbox"/> スキー <input type="checkbox"/> スノーボード Reading <input type="checkbox"/> 読書 Traveling <input type="checkbox"/> 旅行 Cooking <input type="checkbox"/> 料理 Watching Movies <input type="checkbox"/> 映画鑑賞 Others: その他(具体的に表紙で記入して下さい。) Knitting, Gardening		

<SELF INTRODUCTION>  
ホストファミリーに対する手紙です。自分の紹介、参加目的など自由に書いてください。(日本語もしくは英語で)。  
Dear my host family  
Hello. My name is Atsuko. Please let me introduce myself as beginning.  
I'm good at Jazz dance. I have performed since I was 12 years old.  
I have great interests in Taiwan. I hope to see many good friends and make in Taiwan. Of course I want to study not only English but also Taiwan life and to spend good times with all of your family!  
I am looking forward to seeing with you soon!

Sincerely yours

AGREEMENT AND AUTHORIZATION  
I, I, the participant with or without original signature, hereby authorize the following person to represent me in all matters related to the above mentioned program.  
1. 参加者としてプログラム中に発生する費用を滞りなく支払うこと。  
2. 上記の事項を代表し、必要に応じて署名すること。  
3. 上記の事項を代表し、必要に応じて署名すること。  
4. 上記の事項を代表し、必要に応じて署名すること。

ホチキス(一箇所)  
ここに写真を貼付けてください  
(裏にマジックペンを使得ってローマ字で学名、氏名を記入)  
(写真の正面は横が自分かわかるように矢印で「It's me」と記入してください)

Signature of Participant: Atsuko Kawagoe  
Day: 7 / 11 / 2007  
(日付) Day (日) / Month (月) / Year (年)  
Signature of Parent: Fumihiro Kawagoe  
Day: 7 / 11 / 2007  
(日付) Day (日) / Month (月) / Year (年)

緊急医療承諾書  
EMERGENCY INFORMATION AND AUTHORIZATION FOR TREATMENT OF A MINOR  
参加者名 Atsuko Kawagoe  
親権者署名 Fumihiro Kawagoe  
(NAME OF PARTICIPANT) (SIGNATURE OF A PERSON IN PARENTAL AUTHORITY)  
PARENT'S PERMISSION: I hereby accept that the medical treatment without personal liability. 引継者あるいは受入れ家族のその個人責任を負わされることなく処置が決定されることをここに承諾します。

この申込書に添付していただく必要書類をここに記入してください。

【資料⑧】 台湾でのホームステイ体験に関するアンケート結果 (抜粋)

質問項目

- 1) どのようによく過ごしたか
- 2) 台湾の生活習慣などで戸惑ったこと
- 3) 感想

①男子

- 1) 別のホストファミリーの子のグループとも一緒に外食  
バスと徒歩 (計 40 分) で帰宅  
家族と 30 分位話す  
お風呂

w i i をして遊ぶ

24:15 一日の写真などを見て就寝

05:30 起床

- 2) 朝食を家で食べない。(親や自分で用意しない)

家の方まで靴で上がる!

- 3) おばあちゃんやんが日本語を話せた。沢山話した。

ホストファミリーの子と英語で話していろいろな事をした。

ホームステイしたことが一番嬉しかった。

②女子

1) 16:30 帰宅

20:00 夕食

20:30 日本語と台湾語を教え合う

21:45 入浴

22:30 就寝

05:30 起床

06:00 朝食

06:30 出発

- 2) トイレとシャワーが一緒。  
エビをタツバーでとっておいである。  
日本語のテレビを見ていた。でも日本では中国語ってやらない。

3) 日本語の教科書を見せてもらった。でも 10月までしかなかったりした。  
夜、中国語と日本語を教え合った。

②男子

- 1) 18:15 士林夜市を散策。屋台で夕食  
22:00 帰宅。P53をする。風呂  
24:00 就寝  
06:00 起床  
06:20 屋台で朝食を買う  
06:30 ホストファミリーの車で出発、淡水へ

2) 特になし。電化製品がどれも最新でピット。(P53、Vista、薄型TVなど)

3) 言葉が通じたこと。怖さが消えた。  
家庭料理が食べなかったのが少し残念。

④女子

1)

移動

帰宅。自宅夕食

外出。夜市散策

帰宅。風呂

部屋でおしゃべりタイム (けん玉、だるま落とし)

トランプ (日本の遊び方: ぼんぼり)

00:30 屋上に出て夜景を見る。おしゃべり

02:00 就寝

05:50 起床

4) お風呂はシャワーだけ。  
夕食・朝食等は外食が多い。テーブルがぐるぐるできた。  
トイレで紙は流しやいけない。  
住所がわかりやすい。

5) トランプでみんな遊べたこと。台湾の遊び方と日本の遊び方を教え合い、ちやんとできたことが嬉しかった。  
夕食は外食の予定だったみたいだが、英語で、家庭料理が食べたいと書いた (事前に用意) ら、作ってくれて嬉しかった。  
夜遅くまで話が出来て良かった。

【資料⑨】 日本でのホストファミリー体験に関するアンケート結果 (抜粋)

質問項目

- 1) どのようによく過ごしたか
- 2) 日本の生活習慣などで台湾の生徒が戸惑ったこと
- 3) 台湾の生徒が特に喜んでくれたこと
- 4) 学校の運営上の不備や課題について
- 5) 保護者感想
- 6) 生徒感想

本人達の希望により 3人で TVゲーム

19:00 自宅で夕食

20:20 近くのスーパー銭湯へ

21:20 大型スーパーマーケット (ジャスコ) へ

22:30 帰宅、就寝

05:40 起床、朝食

06:20 登校

2) 寒候の違い。12月ということでも暖かくなっていました。朝食を家で食べると言うこと。

3) TVゲームに興味があるようで、夕食までの短い時間でしたが、とても楽しんでいました。中国語を習っていた祖母とコミュニケーションがとれたこと。

4) 特にないが、自分の都合で説明会出席できなかったことが残念でした。

5) 英語がほとんど話せなかったのも、話したいことがあっても言葉が出てこなくて申し訳ないでした。1人の生徒さんが片言でも日本語で話しかけてくださったことが嬉しかったです。お互いの国の言葉、文化を知ろうとする気持ち、努力が大切だと思いました。食事の内容について一番悩みました。

6) 自分は本当に英語ができず、思うように話せないことがとても辛かった。台湾の人はすごく気をつけてくれて、分か

りやすいように絵を描いてくれたりして、それがとても嬉しかった。銭湯では戸惑う様子もなく普通に体を洗ったりして、湯船にも長い時間気持ちよさそうにつかっているところを見た。言葉じゃなくても伝えられることが沢山あることを知った。

②2年女子

1) 17:00 川越めぐり (プリクラ撮影)

18:30 犬の散歩

19:00 自宅で夕食

20:30 部屋で話をした (デジカメを見た)

21:00 浴衣を着せてあげた

22:00 部屋で話し (雑誌を見た)

22:30 就寝

06:00 起床

2) なし

3) 浴衣体験、犬の散歩。

4) 多々心配はありましたが、事前の説明会があり、質問でき、良かったと思います。

5) たった1回ですが、寝食を共にすると親しみがわき、子どもはどのも同じでかわいいなあと感じました。説明会でアパイスして下さった浴衣を着せてあげました。とても喜んでいました。楽しいひとときを過ごすことができ、この機会を作ってくださいましたことに感謝しております。ありがとうございます。

6) たった1日でしたが、とても楽しい時間を過ごすことが出来ました。言葉が通じなくても、ジェスチャーや漢字で伝えることができ、コミュニケーションのよ

い勉強になりました。もう何日か一緒に過ごしたかったです。また会いたいです。ホームステイをして良かったと心から思

います。

【資料⑩】 班別自主研修 コース一覧表

班	ホテルからの交通手段	目的地①	目的地②	目的地③	目的地④	目的地⑤	目的地⑥	目的地⑦
1	徒歩	行天宮	迪化街	霞海城隍廟	台湾故事館 250元	台北101 展望台 350 元	南京東路周 辺	陶然亭餐廳 ~DFS
2	MRT雙連~中正紀念堂 20元	台湾植物園	台湾国立芸 術教育館	師大夜市	中正紀念堂	DFS		
3	徒歩	占い横町	行天宮	西門町	DFS			
4	徒歩	行天宮	東門市場	城中市場	DFS			
5	MRT民權西路まで徒歩 20-30分 MRT民權西路~中正紀念 堂 20元	中正紀念堂 公園	中華工藝館	新光三越台 北車站前店	台湾故事館 250元	服飾街	DFS	
6	徒歩	行天宮	霞海城隍廟	台北101 展 望台350元	雪玉冰淇淋 應中心 50~150元	台北之家 喫 茶店 料金未	DFS	
7	康華大飯店から迪化街ま で徒歩40分程度 バスで迪 化街まで15~30元	迪化街	龍鳳號	カバン屋街 西門町周辺	服飾街 西門 町周辺	DFS		
8	徒歩	行天宮	天文科学教 育館 40元	台北市立美 術館 30元	台北101 展望台 350 元	華陰街商圈	DFS	
9	徒歩	行天宮	台北101 展望台350元	孔子廟	雙連から迪化 街まで徒歩 20分程度 迪化街	DFS		
10	徒歩	新東陽	COSMED 康 是美	マクドナルド	台北衣蝶 Idee	王德傳	春水堂	DFS
11	康華大飯店から雙連站ま で徒歩15-20分程度 MRT雙連~西門 20元	服飾街	台北故事館 50元	台北101 展 望台350元	DFS			
12	徒歩	占い横丁	徒歩(南京東 路散策)					
13	康華大飯店から雙連站ま で徒歩15-20分程度 MRT雙連~西門 20元	阿宗麵線	服飾街	張記	徒歩	MRT西門~ 市政府 25元	MRT市政府 ~中山 25元	
14	康華大飯店から忠孝復興 バス15-30元	忠孝復興から 九份 バス90分 90 元	九份から忠孝 復興 バス90 分 90元	永康街	MRT中正紀 念堂-中山 20元			
15	康華大飯店から雙連站ま で徒歩15-20分程度 MRT雙連~西門 20元	台北牛乳大 王・蜂大珈琲	十字軒餅店・ 張記	鴨肉扁	阿宗麵線	雪玉冰淇淋 應中心・老牌 公園號	新光三越台 北車站前店	DFS
16	MRT中山國中~中正紀念 堂 25元	中正紀念堂	龍山寺	西門町散策 ファッション街	DFS			
17	MRT雙連~市政府 25元	台北101 展望台350元	国父紀念館	西門町散策	DFS			
18	康華大飯店から雙連站ま で徒歩15-20分程度 MRT雙連~西門 20元	萬年商業大 樓	雪花	中山北路散 策	行天宮	DFS		
19	MRT中山國中駅~台北20 元	東部幹線台 北~瑞芳 普 通列車54元	九分散策	東部幹線瑞 芳~台北 普通列車 54 元	DFS			
20	徒歩	行天宮	袖珍博物館 180元	中正紀念堂	DFS	敦化南路周 辺		
21	康華大飯店から民權西路 まで徒歩15-20分程度 MRT民權西路~劍潭 20 元	朝、昼はフー ドコートのみ 士林夜市	台北市立美 術館 30元	台北101 展 望台350元	DFS			

※目的地間の移動手段は、徒歩または地下鉄(MRT)・バス・タクシーを利用。1元はおよそ3.5円(当時)。ほとんどの班が台北市内散策だったが、19班は九分(市外観光地)まで足を伸ばした。

【資料⑪】 淡水商工での交流会プログラム

期日：2007年12月6日 10:00～18:30

会場：国立淡水高級商工職業学校

参加：筑波大坂戸高校2年次生158名、引率教員9名

10:00 バスで学校到着（正面玄関で獅子舞パフォーマンスによる歓迎）  
両校生徒が交流相手を探し、二人組で講堂へ入場（他学年もアリーナ席から歓迎）  
オープニングセレモニー（全体司会・通訳はJTB台湾スタッフ）

- ① 劉校長先生挨拶
- ② 坂戸高校団長挨拶（両校のプレゼント交換）
- ③ 淡水生徒代表挨拶
- ④ 坂戸生徒代表挨拶
- ⑤ プレゼント交換（生徒同士）

交流会 坂戸高校側（筑坂生の司会2名）

- ① 英語による学校紹介（TV系列生徒・パワポ・ｲﾝﾄ使用）
- ② TASAB 研究発表（I系列生徒・パワポ・ｲﾝﾄ使用）

テーマ：『タイの水質資源について』『学校周辺の林について』

③ かるた部模範試合

④ 演劇部＋有志パフォーマンス

淡水高級商工職業学校側

- ① DVDで学校紹介
- ② ヒップホップダンス
- ③ ロックバンド演奏
- ④ 衛兵交代ショー

12:00 昼食（弁当）

13:00 淡水高級商工職業学校のクラブ活動に参加

- ① 中華料理体験 30人
- ② デザート作り 30人
- ③ 園芸生け花体験 30人
- ④ 中国獅子舞体験 10人
- ⑤ ハカティホー 男子10人
- ⑥ ヴィン・カトリレ 男子15人・女子15人
- ⑦ 小麦粉人形・織物 20人

15:30 全員集合し、記念写真

淡水高級商工職業学校生徒と淡水の姉妹校が（バスで移動）

坂戸高校の生徒に10名ずつ、淡水商工生徒2名が案内

18:30 淡水駅集合、バス出発（女子14名、男子6名がホームステイ）

【資料⑫】 筑波大坂戸高校での交流会プログラム

期日：2007年12月19日 10:00～17:00

会場：筑波大学附属坂戸高等学校

参加：国立淡水高級商工職業学校2・3年次生68名、引率教員8名

（生徒内訳）

電子科1人、電機科2人、制御科2人、資訊科3人、資訊科4人、資料科7人、  
園藝科13人、商経科15人、餐飲科20人、進修部餐飲料1人

8:40 2年次SHR

9:00 2年次生は交流会準備のため体育館へ

10:00 淡水生学校到着

淡水生は体育館へ誘導、引率教員は会議室へ。1年次生は窓から小旗で歓迎

10:00～10:20 体育館で淡水生と筑坂生の対面・着席（淡水生へ名札・プログラム配布）

10:20～オープニングセレモニー（体育館）

- ① 坂戸高校学校長挨拶
- ② 淡水商工校長挨拶
- ③ 学校プレゼント交換
- ④ P.T.A・後援会代表挨拶
- ⑤ 筑坂生徒代表挨拶
- ⑥ 淡水生徒代表挨拶
- ⑦ プレゼント交換

10:50～交流歓迎会

1. 淡水での交流会DVD紹介（淡水）
2. 笛とピアノの合奏（淡水）
3. カクテルパフォーマンス（淡水）
4. ダンス部演技（筑坂）
5. アンサンブル演奏（筑坂）
6. 演劇部によるパフォーマンス（筑坂）
7. 2年A組ソーラン（筑坂）

12:00 昼食（体育館で弁当配布、昼食場所はHR教室その他）

12:30 ホームステイをおこなう淡水生と受け入れ生徒の対面（B館1F）

13:00 校内案内・系列授業場所へ案内誘導

13:30～15:30 系列授業体験（全9講座）※通訳：筑波留學生8名と陳さん

15:30 休憩・正面玄関前へ案内誘導、記念写真（中庭）

16:00 淡水生バス（1台）の見送り

ホームステイ淡水生とホストファミリー坂戸生は、帰り支度をして集合

16:15～体育館・その他片付け、解散

【資料⑬】 淡水高級商工職業学校来校記念 国際交流会2007 系列別体験授業の記録①②③

日時と会場	2007年12月19日(木) 13:00～15:30 食品加工室・農場
教員と系列	渋木陽介(農業科) 生物資源・環境科学系列(生物資源モデル)
通訳	蔡 碧月(筑波大学大学院 生命環境科学研究科 生命産業科学専攻)
受講者数	筑坂生18名(内訳:男子11名、女子7名) 淡水生6名(内訳:男子3名、女子3名)
活動内容	収穫祭で盛り上がろう! (餅つき、収穫した野菜でつくる鶏団子汁の製造)
ねらい(目標)	学校農場の野菜等の収穫、餅つき等のものづくりを通して、食と農のつながりを実感し、また、異なる言語を用いる高校生同士が協力しあう作業をとおしてコミュニケーション能力を伸ばしていく
準備するもの	もちつき 収穫 鶏団子の材料及び道具 等
展開(時間、活動、指導上の留意点など)	①鶏団子の作成②野菜収穫 汁物づくり ③もちつきの3班編制で行う。各実習1時間で完了し、1時間は全体でもちつき、交流食事会をできるようにする。また、外の実習なので、焚き火などで体が冷えないように淡水高生徒の健康管理に留意する。
気づき、課題など(教員)	両校の生徒達は共に楽しみながら積極的に実習に望んでいた。このような活動はあまり多くの言葉を使わなくても楽しく実習ができる。言葉によるコミュニケーションを図らなくても済んでしまう生徒が一部いた。食事会するときなど歌を披露する生徒がいたり盛り上がりはしたが、農場オリエンテーリングなど共に問題解決を行う活動の一部に取り入れたら良かったかもしれない。
通訳のふりかえり	Q1:筑波大坂戸の生徒の様子(交流をとおして国際親善を深めることができたか、英会話の力を伸ばすことができたか、淡水商工の生徒と交流できていたか、などについて、ご感想・お気づきの点をご指摘下さい。) <p>私が担当した餅つき体験は坂戸の生徒も淡水商工の生徒も英語べらべらで、通訳はあまり役に立たなかったです。ほとんどの生徒達が非常に明るくて、人見知りしませんが、中に、一人か二人か恥かしがり屋がいました。その時に、「淡水商工の生徒に聞きたいことない?」「相手は日本の餅つきをどう思うのか知りたくない?」をその子に言ったら、「じゃ、……聞いてもらえませんか?」と言われました。交流会に参加した生徒達はきっと相手のことをもっと知りたいという気持ちが強いと思います。shyだから、なかなか切り出せないですね。特に、隣に英語をべらべら話している同級生がいたら、もっと恥かしく感じるでしょうね。この時に、通訳の人が少しプッシュしてあげれば、きっと、みんなで交流をもっと楽しむことができるでしょう。または、事前に、生徒達に一つか二つ聞きたいことの英語を覚えてもらうといいかもしれません。</p> <p>Q2:淡水商工の生徒の様子(交流を楽しんでいたか、困ったことや苦情などはなかったか、など、ご感想・お気づきの点をご指摘下さい。)</p> <p>淡水商工の生徒達が初めての餅つきでとても興奮していました。つきたてのお餅に色んな味をつけて食べるのが始めてと言いました。餅つき組みとついたお餅を小分けして味付け組みに分かれました。予定では、全部できてから、皆で食べるのですが、味付け組みが誘惑に負けず、摘み食いしていました。二つの学校の共同カンニングでした。担当の先生にばれた時に皆大笑いしました。体験講座に入る前に、全員ジャージなどに着替えました。暖かい台湾から来た生徒達にとっては、この日は寒いため、あまり外に出たがらないです。もし、今年も外のイベントがある場合、台湾の生徒達に暖かい格好でくるところを伝えた方がいいかもしれません。困った事や苦情などはなかったです。</p> <p>③体験講座の進め方について(事前の打ち合わせが必要だったか、生徒同士、生徒と教員、教員と通訳の間の意思疎通がスムーズに行われたか、お気づきの点をご指摘下さい。)</p> <p>餅つきの方の体験講座は全然問題なかったです。でも、専門用語のある場合、事前に通訳に知らせば、当日の通訳はもっと順調にできるかもしれません。通訳の内容が分からない場合、通訳さんは前日緊張して眠れないことが多いです。ゆっくり休めないと実力が発揮できません。去年の通訳を担当した者の中、大体皆自分の得意分野を選んだから、大きな問題はなかったと思います。今年は同じメンバーが集まるとは限らないので、ビジュアルペーパークでプログ ラミング実習、パフォーマンスコミュニケーション実習、日本流ビジネスマナー体験など専門的な用語がある体験は要注意です。</p>
生徒ふりかえり	私はお餅つきをしました。きなこ・大根おろし・納豆の三種類を作ったけど、納豆はあまり食べてなかった。(淡水生)納豆はあまり好きじゃないと行ってた。餅つきはとても楽しそうにやっていました。 <p>もちつきをした。台湾の人は、はじめての体験だったらしく、すぐたのしんでくれたみたいだった。台湾の人には、やっぱり納豆は人気なかった。においがだめらしい…笑 でも、人によっては、おいしいといってくれる人もいた。</p> <p>一緒に作業をすることでパディの人とコミュニケーションをとれた。会話をするよりも同じことをやり通す方が仲良くなれる気がする</p> <p>餅つきをして、台湾での餅を食べるときのことなどの話を聞けたのでよかったです。</p> <p>野菜の収穫を淡水の高校の人と楽しくできましたが、野菜を数個しか収穫できなかったことが残念です。後、交流会の日はとても寒くなったので、台湾の高校はつらそうでした。</p> <p>言葉がわからなくてもお互い通じ合ったと思う。話す言葉は違ってもやっぱり同じなんだなあ実感した。</p> <p>みんなで火を囲いたくさん話し、笑いあえた。言葉が通じないけれど身振り手振りで伝えようと思えば伝わるということがわかった。とても楽しかった。</p> <p>動詞と名詞を言えばとれあえず伝わる。</p> <p>当日はすごく楽しい。</p> <p>餅つき楽しかったし肉団子作りも楽しかった。I系に入ってよかった。</p> <p>通じる言葉が英語しかない、その英語もまともに話せないし、ちゃんと説明できるか心配だった身振り手振りを加えて説明したらわかってくれた。農場見学など、とても楽しかったし交流出来てよかった。</p> <p>日本ではよくやるが台湾ではあまりやらない餅つきをして楽しんだ。台湾の学生たちも餅つきをしてみても笑っていた。団子入りの汁とか美味しかったけど納豆餅はいやがっていた…美味しいのになあ。</p> <p>淡水正たちと取りたての野菜を切り、汁にして食べた。印象に残ったことは、今回ホスト側に回っているいろいろと大変だったけれど最終的にいろいろおいしい物を食べられたし、コミュニケーションもよくとれたのでよかったですと思います。</p>

### 系列別体験講座の記録④

日時と会場	2007年12月19日(木) 13:00～15:30 CAD室
教員と系列	金城 幸廣(工業科) 工学システム・情報科学系列
通訳	王 教彦(筑波大学大学院 生命環境科学研究科 持続環境学専攻)
受講者数	筑坂生24名(内訳:男子5名、女子19名) 淡水生7名(内訳:男子 1名、女子 6名)
活動内容	ビジュアルベーシックでプログラミング実習(オリジナルのプログラムを活用した計算ソフト作成)
ねらい(目標)	①プログラミング実習を通じて相互交流を行う
準備するもの	パソコン・資料
展開(時間、活動、指導上の留意点など)	①本日の流れを説明 ②通訳紹介 ③各班での自己紹介 ④授業内容の説明 ⑤実習(途中休憩) ⑥作品紹介 ⑦まとめの言葉
気づき、課題など(教員)	今回、Visual Basic(Ver6)を従来、生徒に行っている授業を英語による作成したプリントをもとに説明・実習を行う形式とした。台湾の学生はVBを活用した実習を過去に行った生徒もいて、実習の趣旨がすみやかに理解され、実習も容易に取り組み、大変熱心の実習を行っていた。また、本校生徒が補助的にアドバイスをし、相互の交流がはかれた。通訳を行っていただいた、王さんにも実習の趣旨ねらいや実習内容がスムーズに理解され、台湾の学生に伝えられた、様々な面で王さんに感謝します。課題として、もっと事前にこちらの可能な実習内容を伝えて、台湾の学生が選択可能にするとか、工夫が必要であった。
通訳のふりかえり	③体験講座の進め方について(事前の打ち合わせが必要だったか、生徒同士、生徒と教員、教員と通訳の間の意思疎通がスムーズに行われたか、お気づきの点をご指摘下さい。) (回答無し…メールトラブルにより連絡出来なかった。)
生徒ふりかえり	ふつーにパソコンできて、教えることなんて日本語の入力方法ぐらいしかなかった。そのときその子のプログラムも見せてもらった。 CAD室で体験講座をやったが淡水高校の人たちの方がビジュアルベーシックを使ったことがあり、素早くやるのができていたことに驚いた。 台湾の生徒と言葉の壁を越えて一つの作品を作ることができた。上手く英語で会話はできなかったかもしれないが、気持ちは伝えることができたと思う。 系列体験学習はパソコンを使った授業だったのでyahoo!の翻訳ページを使って、会話できた。 淡水生一人にたいして、こちらが4人と多く、まとまりがあまりなかった

### 系列別体験講座の記録⑤

日時と会場	2007年12月19日(木) 13:00～15:30 福祉実習室
教員と系列	竹内義晴(公民科・福祉科) 平田佳弘(保健体育科) 生活・人間科学系列(福祉・保育モデル)
通訳	陳 達謙(筑波大学大学院 地域研究研究科 地域研究専攻 日本語研究コース)
受講者数	筑坂生22名(内訳:男子2名、女子20名) 淡水生9名(内訳:男子 5名、女子 4名)
活動内容	パフォーマンスコミュニケーションゲーム と 文化施設(聖天宮)見学
ねらい(目標)	①コミュニケーションゲームを通しての意思疎通の下地を作る ②移動手段の中(バス)や移動先(道教寺院)でのグループでの意思疎通の表現を深める
準備するもの	運動着
展開(時間、活動、指導上の留意点など)	①コミュニケーションゲーム・信頼ゲームを行い、名前を覚え、スキンシップを図る ②その関係を維持して他の場所(聖天宮・道教寺院)に移動しコミュニケーションを深める
気づき、課題など(教員)	1時間目のゲームは大変盛り上がり、ニックネームも付け合い目標は達成された。2時間コミュニケーションゲームでも盛り上がっただろう。見学場所は時間があれば川越など見るものが沢山ある観光地の方がより会話が弾んだだろう。寒い寒いといいながら楽しそうに会話を楽しんでいたのが2時間目だった。
通訳のふりかえり	③体験講座の進め方について(事前の打ち合わせが必要だったか、生徒同士、生徒と教員、教員と通訳の間の意思疎通がスムーズに行われたか、お気づきの点をご指摘下さい。) 特になかった。ただ台湾の「廟」の見学はつまらないと思っていた子はたくさんいたので、他の場所があったらいいと思う。でも場所はあまり重要じゃないような気もして、皆結構はしゃいでいたから。
生徒ふりかえり	自己紹介やゲームをして仲良くなれた。自分たちがむかえるがわだったの、楽しんでもらえてたうれしい。せっかく日本に来てくれたのだから、日本語を教えてあげた。台湾語も少し教えてもらったけど発音が難国とか関係ないんだと改めて思った。淡水にいったとき何も接点がなかったこと仲良くなって日本に来たとき、私宛に手紙とプレゼントを用意してくれたことがすごくうれしかった。 みんなノリがよくて日本人と似ているところが多かった。積極的に授業に参加していたし、みんないい人たちだなあと改めて思った。台湾人が大好きになった。

### 系列別体験講座の記録⑥

日時と会場	2007年12月19日(木) 13:00~15:30 被服実習室
教員と系列	石田 光枝(家庭科) 生活・人間科学系列(アパレルモデル)
通訳	童 安佚(筑波大学大学院 人間総合科学研究科 体育科学専攻)
受講者数	筑坂生17名(内訳:男子0名、女子17名) 淡水生8名(内訳:男子 1名、女子 7名)
活動内容	アパレル実習(和柄の浴衣生地を用いた巾着袋作成)
ねらい(目標)	巾着袋を作る
準備するもの	布、ひも、糸、針、ミシン
展開(時間、活動、指導上の留意点など)	①教員による作り方の説明 ②それぞれ生徒がミシンの操作の説明 ③製作 ④(時間が余ったので)ファッションショーのビデオ鑑賞
気づき、課題など(教員)	生徒(筑坂)に、あらかじめ自分の浴衣に合う巾着袋の製作をした。その後体験講座に臨んだので、失敗もなく短時間で完成し、持って帰ってもらうことが出来た。
通訳のふりかえり	① 体験講座の進め方について(事前の打ち合わせが必要だったか、生徒同士、生徒と教員、教員と通訳の間の意思疎通がスムーズに行われたか、お気づきの点をご指摘下さい。) I、事前の打ち合わせがあったため、スムーズに行われた。 II、担当しているところで時間が余ったため、ビデオを見たりもした。また、浴衣を着たいという台湾の学生もいたので、すぐに着させてもらっていた。非常に良かったと思う。
生徒ふりかえり	普段先生が私たちにアパレルを教えているのって大変だなあと思いました。みんなで巾着袋を作ったり、ファッションショーのビデオをみたり・・・楽しかったです。 ミシンを使って巾着を作るという体験講座だった。私は主にミシンの手伝いをした。返し縫いとかどんなふうにいいたら良いのか迷ったけど「リターン」で通じたのでなんとか教えることができた。英語を使って裁縫を教えるということを通してコミュニケーション力が伸びたと思う。 浴衣を着て登場した時台湾の学生たちがいっせいにカメラを向けてきた。台湾の学生たちにとって浴衣は日本の代表的な文化であると思った。台湾の学生が浴衣を着たいといって着たとき、日本人と変わらない美しさにびっくりした。 やり方を教えるのがすごく大変だった。通訳さんがいなかったら絶対やばかったと思う。後、浴衣を着てやったのがとても良かったのかなと思った。喜んでくれたからすごく良かった。

### 系列別体験講座の記録⑦

日時と会場	2007年12月19日(木) 13:00~15:30 調理室
教員と系列	後藤 卷子・田中 友紀子(家庭科) 生活・人間科学系列(フードデザインモデル)
通訳	王 怡潔(筑波大学人間学群 心理学類)
受講者数	筑坂生17名(内訳:男子0名、女子17名) 淡水生8名(内訳:男子3名、女子5名)
活動内容	和食調理実習(赤飯、茶碗蒸し、白玉フルーツ)
ねらい(目標)	①炊きおこわの作り方 ②茶碗蒸し作りの復習(具入り) ③白玉粉の扱い方(復習)
準備するもの	食材、英語版レシピの作成、エプロン・三角巾の用意
展開(時間、活動、指導上の留意点など)	1. 赤飯、茶碗蒸しの示範をして、調理のポイントを説明した。 2. 示範後、調理実習を開始した。 3. できあがったら、試食台で、机を並べて大勢で試食をした。 (生徒は、事前のリハーサルで一度、同じ作り方で実習を行った)
気づき、課題など(教員)	事前リハーサルを行ったため、生徒に余裕ができ、淡水の生徒を引っ張りながら楽しく実習している様子が見られた。 また、事前に、王さんとゆっくり打ち合わせをすることができたので、こちらの伝えたいことをよく汲んでくださり、示範のときも実習もスムーズに進められたように思う。また、通訳だけではなく、調理や試食の際も積極的に関わってくださったおかげでとても和やかに楽しく進められた。
通訳のふりかえり	③体験講座の進め方について(事前の打ち合わせが必要だったか、生徒同士、生徒と教員、教員と通訳の間の意思疎通がスムーズに行われたか、お気づきの点をご指摘下さい。) 事前の打ち合わせがあつて、全部の流れを把握できてよかったです。なかったら、学生から聞かれても答えられないと感じ悪いので、事前の打ち合わせが大切だと思います。淡水工商の学生は坂戸高校の授業内容はすごく興味を持っています。台湾の場合、料理専門科ならば、料理の授業しかないので、日本はどうでしょうかという質問がありました。
生徒ふりかえり	通訳の人がいたおかげで、調理の説明が伝わったので淡水の人たちも結構調理に参加できてよかったです。淡水の人たちは質問をたくさんしていて熱心に授業を受けていて、なんだか嬉しく思った。 調理を体験したが、淡水の生徒さんは自分たちよりもよっぽど腕がたっていた。授業の内容がこちらよりも高度だと思いました。レシピにアレンジを加えたりして、こちらは教える側だったのにこっちが勉強になっパディが男の子だったんだけど、料理が大好きな子だった。先生のお手本を見ただけで、英語とかなしでテキパキやってくれたから、すごいと思った。料理ならあまり英語はいらないからよかった。 一緒に同じものをつくるというのはよいことですね。でもコトバがわからないと、どうしても台湾同士、日本同士でかたまってしまふ傾向があるのが見て分かりました。ちがう文化のもつ人同士でも会話やコミュニケーションができるようにならなくてははいけませんね。あと赤飯をのこしていたのはちょっと残念でした。もったい



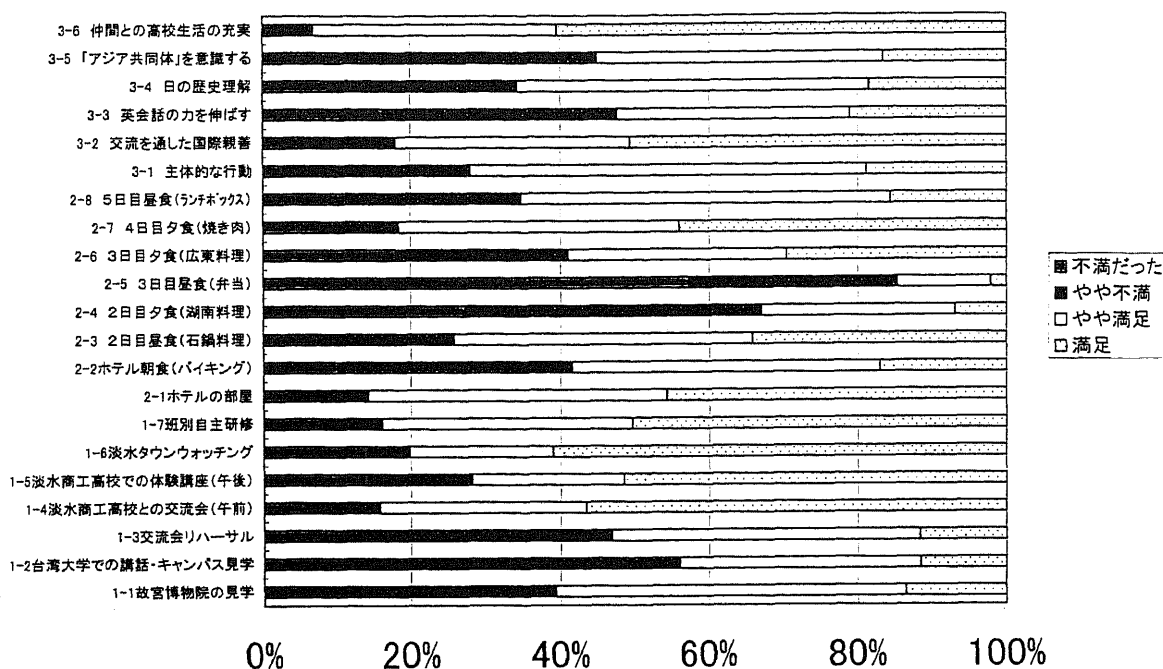
### 系列別体験講座の記録⑧

日時・会場	2007年12月19日(木) 13:00～15:30 コンピュータ教室B
教員と系列	奥村準子(国語科)、加藤敦子(外国語科) 人文社会・コミュニケーション系列(人文モデル)
通訳	陳 正芬(本校生徒保護者)
受講者数	筑坂生20名(内訳:男子5名、女子15名) 淡水生10名(内訳:男子 5名、女子 5名)
活動内容	唐詩を楽しむ(日・中・英語を使って唐詩を楽しむ。百人一首の紹介)
ねらい(目標)	①日本と中国を代表する韻文である百人一首と漢詩を知り、「ことばの響きの美しさ」を楽しむ。 ②詩歌のもつメッセージを理解し、他者に伝える。 ③異なる言語を用いる高校生同士が、日・中・英語とボディランゲージを駆使してひとつのミッション(課題)を解決する。その作業をとおしてコミュニケーション能力を伸ばしていく。
準備するもの	唐詩1編を書いたプリント(5グループ分)、辞書(漢和・中日)、PC5台
展開(時間、活動、指導上の留意点など)	①教員より「体験のねらい」の説明、②各グループ1編の唐詩について、中国語の発音と日本語の書き下し文を教え合う、③作者や詩の訳について調べたことをパワーポイントのスライドにまとめる、④各グループで②③の内容を発表する、⑤担当教員と通訳による表彰および講評、⑥全員で記念写真
気づき、課題など(教員)	中英辞典があると英語によるコミュニケーションがよりスムーズだった。唐詩の難易度や知名度(web上で検索できるか否か)によってグループワークの進行(生徒たちの理解度)に差が出てしまった。英会話やコミュニケーションが苦手な生徒への支援にくふうが必要だった。
通訳のふりかえり	Q1:筑波大坂戸の生徒の様子(交流をとおして国際親善を深めることができたか、英会話の力を伸ばすことができたか、淡水商工の生徒と交流できていたか、などについて、ご感想・お気づきの点をご指摘下さい。) 英会話能力を伸ばしたかどうか分かりませんが、ことばが判らなくてもなんとかコミュニケーションを取っている様子で、若者達の能力を信じて良いのではないのでしょうか? Q2:淡水商工の生徒の様子(交流を楽しんでいたか、困ったことや苦情などはなかったか、など、ご感想・お気づきの点をご指摘下さい。) 少し戸惑う表情もあったが、時間が経つと授業内容に必死に対応しようと思っているようでそれなりに楽しんでいたと思う。 Q3:体験講座の進め方について(事前の打ち合わせが必要だったか、生徒同士、生徒と教員、教員と通訳の間の意思疎通がスムーズに行われたか、お気づきの点をご指摘下さい。) 淡水商工の校長先生が歌った詩と同じように、台湾や中国にはたくさんの唐詩にメロディをつけて歌うようになった。もし、事前授業のなかで、使用する詩唐詩を先方に伝えておけば、ひょっとしてメロディのある詩を聞かせてくれてひと味違う鑑賞ができたでしょう。(反対に、もし日本語の唐詩でメロディのついたものがあれば聞いてみたいです。)
生徒ふりかえり	つたない英語だったが、同じ班の人に協力してもらい、何とか通じることができた。英会話力が少しだけついたと思う。また淡水の方に日本語を伝えるとき、いつものようにはなしていたら、ゆっくりと言われた。このことから、外国人だけでなく他人に言葉を伝える難しさを学んだ。 漢詩の読み方などを学習しているときは交流できたが、パワーポイントの作業に入ると喋りにくかった。 IV系の人文モデルは漢詩をやった。漢詩を聞いて、少しつまらないかと思っていたが、あちらの高校生は意外と楽しんでくれ、お互いの母国語を教えあった時には笑いがおこった。多少の言語力とジェスチャー、筆談でお互いの言いたいことをいってやっと通じたときは本当に嬉しかった。いい時をすごせた。

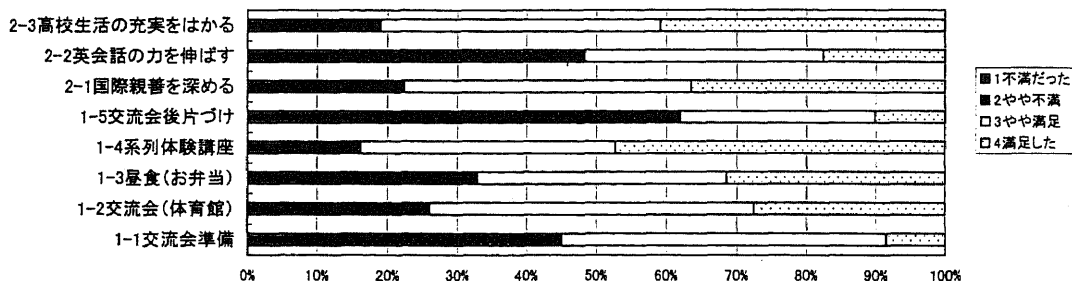
### 系列別体験講座の記録⑨

日時と会場	2007年12月19日(木) 13:00～15:30 ビジネス実践室
教員と系列	對崎 加奈子・中井 毅(商業科) 人文社会・コミュニケーション系列(ビジネスモデル)
通訳	劉 韋志(筑波大学大学院 システム情報工学研究科 経営・政策科学専攻)
受講者数	筑坂生10名(内訳:男子4名、女子6名) 淡水生10名(内訳:男子0名、女子10名)
活動内容	ペア同士で写真を撮影し画像をフォトショップで加工、下敷きを制作する
ねらい(目標)	①パソコンを使った共同作業を通して、コミュニケーションを図る。 ②デザインのアイデアを出し合い、互いの文化を知る。
準備するもの	パソコン・フォトショップ(ソフト)・デジタルカメラ・ラミネータ
展開(時間、活動、指導上の留意点など)	ペア同士の写真を撮影した後、デザインのコンセプトを話し合う。そのコンセプトを基に、フォトショップで写真を加工、印刷後ラミネータ処理を施し下敷きを制作する。
気づき、課題など(教員)	事前に本校の生徒にソフトの操作方法を教えていたが、思った以上に作業に時間がかかった。授業の後半に他施設への見学を予定していたため、印刷・ラミネート加工をする時間が無くなり、担当教員だけでその作業をせざるを得なかった。見学から戻ってきた時に完成品を手渡した際、どちらの生徒も非常に喜んでいたので、最後まで作業に携われたらもつと良かったと思う。十分な時間を確保するか、操作方法を周知徹底するかどちらかの対応が必要だったと思う。
通訳のふりかえり	③体験講座の進め方について(事前の打ち合わせが必要だったか、生徒同士、生徒と教員、教員と通訳の間の意思疎通がスムーズに行われたか、お気づきの点をご指摘下さい。) 事前の打ち合わせが必要だと考える。或いは、体験講座のやり方についての説明(文章化)をメールで送って来られれば良いと思います。今回には事前の説明がないせいで体験講座の進み(時間や中身など)が影響されたと気がします。
生徒ふりかえり	交流会の思い出を写真に残せた。 名刺から下敷きが変わって、さらにバス移動で台湾式の神社のようなところに連れて行かれた。しかし最初の作業時間が短くて、満足に作業できずに終わってしまったのがとても残念だった。 体験講座で渡しは下敷き作りをパソコンでやったけど、二人で一つのデザインを考えて、二人の写真に加工したけど、いい思い出になった。伝わらないことは紙に書いて伝えることによって、コミュニケーションをとれた！！

### 【資料⑭-1グラフ】台湾校外学習・満足度調査



### 【資料⑭-2グラフ】淡水商工来校交流会・満足度調査



【資料⑭-1表】台湾への校外学習を経験して、後輩へ伝えたいこと(自由記述)	人数
食事面への不満・注意	51
心構え(旅を楽しむ、交流)	19
台湾・交流会へのプラス評価	17
健康・体調管理	16
生活面へのアドバイス(トイレ・薬)	15
台湾校外学習へのマイナス評価	11
交流に関するアドバイス(辞書・英会話・交流会プレゼント)	7
スケジュールへの不満(多忙感)	5
台湾の人々へのプラス評価(親切)	5
日本(文化・食事・生活)の再評価	2

【資料⑭-2表】淡水商工来校交流会を経験して、後輩へ伝えたいこと(自由記述)	人数
心構え(積極性・会話・異文化理解)	38
英語学習の重要性	29
台湾や交流会へのプラス評価	22
食事への不満・注意	11
健康・体調管理	8
台湾や交流会へのマイナス評価	8
生活面のアドバイス(入浴・寒さ・充電器)	3
交流のアドバイス(紙とペン、辞書の用意)	2
実施内容への要望(スケジュール、内容充実)	2
日本の再評価	1

【資料⑭-1】 2007年12月13日質問紙調査実施(回収率91.2%)  
 【資料⑭-2】 2007年12月19日質問紙調査実施(回収率93.1%)

【資料⑮】 台湾招聘教員研修概要

本校は平成18年12月に筑波大学附属学校教育局の国際化対応経費の申請を行い、下記3つの事業が承認された

- ①生徒交流事業 12月19日(水)
- ②教員交流事業 2008年2月中旬
- ③台湾理解事業 2008年2月下旬

その中の1つとして台湾招聘教員研修事業が行われた。  
以下の要領を作成し、台日経済文化代表所を通して台湾の高校教師を公募したところ、台中市(私立)新民高校の日本語教師 林麗容 女史が選出され、決定した。

平成19年度 台湾招聘教員研修事業要領

1 事業内容

- (1) 事業名 「台湾招聘教員研修事業」
- (2) 事業目的

本校は、本年度(2007年度)より台湾への4泊5日(12月4日～12月8日)の校外学習(修学旅行)を実施した。その主要な目的の一つとして、淡水高級商工職業学校(以下、淡水商工という。)との国際相互交流をおこなった。12月6日(木)には本校が、12月19日(水)には淡水商工が本校を訪問し、相互交流をおこなった。また、この相互交流の中で、本校からは20名、淡水商工からは30名がそれぞれ別の場所で行うホームステイ(1泊)を実施した。国際相互交流を今後ますます充実したものとすするため「台湾招聘教員研修事業」を実施する。

(3) 台湾招聘教員研修事業内容

教員研修事業として、台湾の高校教員1名を一週間本校に招聘し、教育研修と日本語文化研修をおこなう。併せて、本校教職員、生徒との交流をおこなう。  
①教育研修 わが国の学校教育について、本校の教育について(総合学科教育)、授業体験、近隣教育施設の見学等を実施する。

②日本文化理解研修 坂戸市、埼玉県、及び東京都内の文化施設等での研修を実施する。

(4) 本事業によって期待される成果

本事業を実施することにより、以下のような人材や能力の育成が期待できる。

- ①国際的視野を持つことにより、主体的な生き方ができる人材の育成
- ②国際理解を進めることにより自己確立が図れる人材の育成
- ③広い視野で異文化を理解し、異なる文化を持った人々と共生ができる資質や能力の育成
- ④自分の考えや意志を表現できる外国語能力や表現力等のコミュニケーション能力の育成

2 実施時期 2008年2月24日～2008年3月1日

3 招聘教員数と条件 招聘教員 1名

- (1) 台湾と日本との国際相互交流に賛同する台湾の高校教員
- (2) 日本語教育に携わる台湾の高校教員

4 費用等

渡航費(航空券代)、日本に於ける宿泊費(朝食を含む)、日本国内の交通費等を筑波大学が負担する。

2月24日	2月25日	2月26日	2月27日	2月28日	2月29日	3月1日
朝会	送迎 自己紹介 朝のSHR (2年A組)	送迎 朝のSHR (2年A組)	送迎 朝のSHR (2年A組)	送迎 朝のSHR (2年A組)	送迎	送迎
1限	学校紹介 カリキュラム 説明(会議室) 校内施設見学	学校行事 (予備会) 見学	市内小学校 訪問 (坂戸小 ・片柳小)	授業見学 英語・家庭 授業見学 体育	上野見学 博物館 美術館 動物園 など	
2限				授業見学 世界の思想		
3限	授業見学希望 調査(会議室)			講演会準備		
4限		市内中学校 訪問 (住吉中) (給食あり)		講演会準備		
昼休	昼食 (家庭科室)		昼食 (家庭科室)	昼食 (家庭科室)		
5限	授業見学		川越見学 ・博物館 ・蔵作り	林先生 講演会 (体育館) 茶道部見学		
6限	国語総合 国語科・英語 科教論との協 議会(会議室)			全職員との 協議会 (会議室)		
7限				教会見学		
放課後	歓迎会 (桐栢会館)	管理職との 懇親会	部活見学			
泊	坂戸市内 ホテル宿泊	坂戸市内 ホテル宿泊	坂戸市内 ホテル宿泊	坂戸市内 ホテル宿泊	坂戸市内 ホテル宿泊	坂戸市内 ホテル宿泊
先泊						成田空 港出発

備忘

- 12月26日 台日経済文化代表所 文化部の羅さんに電話  
代表の 許世楷 宛に 文書送付して欲しい旨言われる
- 12月27日 午後 速達の手紙書留で送付 28日午前には着くとのこと
- 1月4日 11時45分 羅さんに電話 まだ回ってこないとのこと
- 1月5日 羅さんに電話 回ってきて代表喜んでいとの事  
文化部長に電話回してもらいたい願う  
副校長に文化部長に電話してもらいたい願う
- 1月17日 推薦された 林 女史の 履歴書 届く